



さんかく21・Anjo

安城



写真:あんリビマルシェ2022.06.09に開催
主催 Anjo Living Lab

エンパワーメント講座

会長 山崎 嘉代子

安城市が開催している「エンパワーメント講座」は、2000年に策定した男女共同参画プランに基づき、2002年に人材養成講座としてスタートしました。その後、目的を明確にするために、現在の名称となりました。

エンパワーメントとは、一人ひとりが本来持っている力を発揮し、自らの意思決定により自発的に行動できるようにすることを意味します。今まで受講された方たちからは、意識、価値観が変わった、人生を見直すきっかけになったとの感想をお聞きしています。今回の情報誌は、初めて講座の修了生を含めた子育て世代の方たちが作成しています。

目次

- * 私ならではのライフワーク
～楽しみながら自分で自分を
成長させるコツ～ …… P2,3
- * もっと身近にSDGs …… P4
- * さんかくニュース
男女共同参画推進活動者表彰 …… P4

私ならではのライフワーク

～楽しみながら自分で自分を成長させるコツ～

今回は安城市が開催する講座*をきっかけに、好きなことや大切なことを見つけ、夢ややりたいことに向かって進み出している子育て中の女性4人に話を伺いました。

*P4「もっと身近にSDGs」に掲載のエンパワーメント講座など



おおた さえこ
太田 紗絵子

京都府出身

結婚を機に安城へ。
8歳、6歳の子育て中。
アクセサリー作りの傍ら、心と身体が豊かな人や地域をデザインしていきたいと思い始め、Anjo Living Labというコミュニティをつくり、マルシェなどを開催している。



さかきばら なおこ
榊原 直子

静岡県出身

結婚を機に安城へ。
5歳の子育て中。
1人時間を活用して講座や講演会などに参加し、自己成長のために種まき中。



たけはら ちか
竹原 知佳

千葉県出身

小学校入学時に安城へ。
5歳、3歳の子育て中。子育てだけの自分に違和感があり、趣味としてリボン雑貨の製作・販売を始める。自分らしく生きるお手伝いをする、ライフコーチになるため勉強中。



しまづ かなな
島津 カンナ

沖縄県出身

仕事で安城へ。
6歳、3歳、1歳の子育て中。
新型コロナウイルスの流行をきっかけに、食、健康、薬について勉強し、アロマを生活に取り入れるようになる。アロマを活用したワークショップやマルシェで活動中。

やりたい事は挑戦してみよう！

【講座を受講してなど、自分が変わったと思うことはありますか？】

竹原 次女を出産し、夜中の授乳中や1人になった時、涙もなく泣いたり、不安に襲われたり、とても辛かったのを覚えています。子育てだけの自分になりたくないと思い、自分のための時間をつくり、いろいろ動き出しています。

榊原 以前は周りの人を気にしていましたが、講座などに参加するようになり、いろい

ろな価値観や年代の人に出会えたことで、「みんなと一緒にじゃなくていい、やりたい事は挑戦してみよう！」と思うようになりました。少し気楽に考えるようになったことで、行動の幅も広がりました。

太田 母や妻として、家事・育児、自分のやりたいことも全て完璧に取り組みなければならぬと自分に暗示をかけていましたが、できないときは、完璧じゃなくてもいい、家族に手伝ってもらおうと思えるようになりました。目の前のチャンスを逃さないように、とにかくやってみようと思いがけています。

もっと身近にSDGs

SDGsとは国連が定めた、未来を変えるための17の目標です。なぜSDGsが重要だと言われているのか、それは未来の子どもたちのために、豊かな自然環境や文化を残すためです。今私たちがどう考えて行動するかで、みんなが自分らしく生きられる社会の実現につながるのではないのでしょうか。目標5「ジェンダー平等を実現する」を例にみてみましょう。

性別にとらわれず、自分の好きなことややりたいことにチャレンジする

「男性は仕事、女性は家事」と、性別や周りの価値観に左右されずに自分がやりたいことに取り組む



家事を家族みんなで協力し合う

家事は女性の仕事という意識を変え、家族みんなで分担する



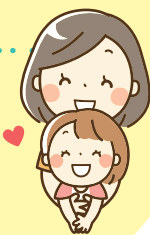
ジェンダーレス制服

学校では学生服やセーラー服から、男女ともブレザー形式の制服が導入され、スラックスが選択できるようになる



すべての女性や女子のエンパワーメントを図る

安城市では本来の自分が持っている力を引き出すきっかけになる講座として「エンパワーメント講座」(全6回)を9月に開講詳しくは市公式ウェブサイトをご覧ください



子どもと一緒に読めるSDGs

【12歳までに身につけたいSDGsの超さほん】朝日新聞出版社 2021年



さんかくニュース

男女共同参画推進活動者表彰

受賞者 旭 多貴子 (あさひ たきこ) さん

9月1日(木)ウィルあいちで男女共同参画のつどいが開催され、旭多貴子さんが表彰されました。旭さんは、さんかく21・安城の創立期に実行委員長や会長を務め、男女共同参画の推進に尽力されました。

受賞者コメント

「婦人週間」と呼ばれていた頃から「男女共同参画週間」に至る時代背景の中、皆様と共に歩み続けた結果、身に余る表彰を受けました。心から感謝申し上げます。



●「さんかく21・安城」とは●

男女共同参画社会の実現をめざす市民グループのネットワークの会です。

(令和5年2月1日現在のグループ一覧・順不同)

安城国際交流友の会／安城市食育健康づくりの会
安城市更生保護女性会／安城市消費生活学校
刈谷・知立・安城おやこ劇場／グリーンそう
国際交流安城はなのき会／ボランティアネット北明治の会
やはぎ会安城支部／NPO法人安城まちの学校／NPO法人ing
NPO法人育て上げネット中部虹の会
NPO法人チャンネルDaichi
指定生活介護事業所ぬくもりの家
ウィメンズネット安城
日本デンマークルネサンス推進機構
NPO法人あんじょう地域ねこの会
安城市民やろmyプログラム実行隊
18団体 個人会員23名



編集後記

同世代の方の新たな価値観に触れ、「私も頑張ろう!」と元気をもらうことができました。

36号編集委員

太田紗絵子・榎原直子・竹原知佳・島津カンナ

企画・編集:さんかく21・安城
発行:安城市

問合せ先 安城市役所市民生活部市民協働課

〒446-8501愛知県安城市桜町18-23

Tel (0566) 71-2218 Fax (0566) 72-3741